

とっとり 県議会だより

令和4年12月定例会
(2022)

No.043
Dec.
12月
議会

主な記事 Contents

代表質問 2p
 一般質問 3~7p
 お知らせ 7p
 令和3年度決算認定 8p
 常任委員会活動 9p
 議決結果 10~11p
 高校生議会 12p



12月定例会の概要 (12月1日~12月22日)

開会日の12月1日に、平井知事から総額378億9千万円余の令和4年度鳥取県一般会計補正予算(議案第6号)など22議案が提案されました。また12月5日に、総額7億円の令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)が、12月12日に、人事議案2件が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党が行い、一般質問には22名の議員が登場。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案 <<可決9件>> ◎条例議案 <<可決9件>>
- ◎決算認定等 <<認定3件、可決及び認定1件>>
- ◎人事議案 <<同意2件>> ◎その他議案 <<可決4件>>

【議員提出議案】

- ◎条例 <<可決2件>> ◎意見書 <<否決1件>>

【陳情】 <<不採択4件>>

表紙の写真

倉吉関金道路

倉吉市内では、地域高規格道路北条湯原道路の一部となる一般国道313号倉吉道路及び倉吉関金道路の整備が進められています。

このうち、倉吉西IC~(仮称)福山IC間については令和一桁半ばの開通を目指して橋梁工事や改良工事が進められています。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



語堂 正範 議員
選挙区 東伯郡



和牛全共の結果と畜産振興

問 第12回全国和牛能力共進会において、目標には及ばなかったが、今後ブランド力の向上に向けてどのように推進していくのか。

答 鳥取和牛の頭数は少ない。高級志向の戦略で展開を図っていく。

「ギフ鳥（※1）」の推進を

問 地域づくりを支援する仕組みとしてギフ鳥がスタート。今後どのように推進していくのか。

答 PR事業などを手がけ始めたところ。寄附文化を醸成し、新年度以降に向け展開を強めていく。

農業改良普及所の体制強化

問 普及所は農家のよろず支援の場であってほしい。組織力向上が必要と考えるがどうか。

食農教育の再始動を

問 食農教育を推進するには農家や各部署との連携が必要では。

答 現場ではあぐりキッズスクールという良い取組がある。食農教育はもう一度ビジョンを立て、鳥取らしいふるさと教育に繋げる。

県立美術館の活用と可能性

問 美術館への関心が高まっている。観光誘客を進めていく上で、観光拠点の一つとして美術館をどのように活用するのか。

答 いろいろと議論し、観光面でも生きた存在にしていこう。

芝王国ととりの推進

問 今後の県産芝の生産拡大と活用はどのように進めるのか。

答 芝を活用した緑化推進に向けてロボット芝刈り機などICT技術をとり入れながら、人材面も含め芝産業の振興を図っていく。

特殊詐欺被害対策

問 県民を詐欺被害から守る啓発など重点的な取組が必要だと考えるがどうか。

答 （警察本部長）自治体や事業者の方々と連携し、丁寧に注意喚起するなど安心・安全な鳥取県を実現する。

子育て王国の推進

問 晩婚化が進む中、婚活や不妊治療への支援もこれまで以上に必要と考えるがどうか。

答 不妊治療等も含めた対策は一定程度効果があり、事業検証しながらさらに拡充・展開していく。

あいサポート運動

問 鳥取県発のあいサポート運動は、8県16市6町へと全国に広がりを見せている。2年後の創設15年を節目にサミットなどを開催してはどうか。

答 15周年の節目に関係自治体におけるイベントも考えられる。横の連携を図るため、実効性を持たせた仕掛けなど協議していく。

国民保護

問 緊急時だけでなく、平時からの日常的な対策が必要では。

答 市町村とも協働し国民保護措置の改善を図っていきたい。

パートナー県政の継続を

問 パートナー県政を将来にわたって受け継いでほしい。

答 みんなで県政をつくっていく私たちの絆というのが県政の成否を決める鍵であり、将来にわたって進めていく。

高校魅力化の推進

問 今後、高校魅力化を進める中、コーディネーターのネットワーク形成が必要と考えるがどうか。

答 （教育長）各自治体が設置するコーディネーターを核とし、高校の魅力化と併せて地域の活性化につながるような地域を巻き込んだ取組となるよう連携を図っていく。

鳥取県らしい半農半X（※2）

問 人手不足、担い手不足は大きな課題となっている。鳥取県らしい半農半Xの取組を行っては。

答 半農半X的な生き方の推奨を、モデル的に展開したい。

木育ビジョンの今後は

問 木育ビジョンは第3期以降どのように展開するのか。

答 木と親しんで遊べる木育の拠点を増やすとともに、コーディネーター人材の育成に注力していく。

木育ビジョンの今後は

問 木育ビジョンは第3期以降どのように展開するのか。

答 木と親しんで遊べる木育の拠点を増やすとともに、コーディネーター人材の育成に注力していく。

（※1）「ギフ鳥（とり）」…ふるさと納税の仕組みを活用して、NPO法人や住民団体などの地域づくり活動を支援する鳥取県の寄附制度
（※2）半農半X…副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するための、農業と他の仕事を組み合わせた働き方



松田 正
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

①天の真名井水車改修
②産廃③NCR (※1)

問 ①水車改修の動きにどういった対応をお考えなのか。

答 ①鳥取県のプライドの一つ。当初予算の中で検討させていただく。

問 ②淀江町母親有志の会の方からまだまだ不安であるという声がある。何らかの方策で応えていただけないものか。

答 ②真摯に向き合い、最善を尽くしてまいりたい。

問 ③ハード整備が必要。来年度予算編成に向けてどのように取り組まれるのか。

答 ③新年度いっぱいが一つの目安。それに間に合うような形で整備を進めていく。



濱辺 義孝
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

不登校児童生徒増加に
フリースクール活用を

問 不登校の一人一人に寄り添う居場所づくりと支援体制強化が重要。伴走型支援として注目されているフリースクールの設置拡大、運営支援・通所支援対象施設を拡大すべきと考えるが知事に問う。学校、フリースクール及び教育委員会の密な連携が必要と考えるが教育長に問う。

答 県独自支援の体制を年々強化してきた。支援対象拡大は教育委員会と協議したい。
(教育長) 各々の要因や背景に応じた居場所づくりは大人の責務であり、連携は重要。学びの充実に今後も取り組む。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

孤独孤立対策としての
障がい者就労について

問 障がい者等の就労困難者の孤独・孤立対策の一環として部局横断的に対策を図り、ソーシャルファーム(※2)等の具体的施策を検討すべき。

答 県外や海外の実例を研究し、ソーシャルファームの考え方を基にさらに障がい者の活躍の場、雇用の場を拡大したい。就労は共生社会の大きなパートであり、新年度に向けて部局横断的に考え、ソーシャルファームにも取り組んでいければと思う。社会の中で自立を援助するために、部局や制度の壁を越えて横断的に検討していきたい。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

①小児医療費の無償化
②漫画文化の定着開花

問 ①少子化対策、子育て支援に本気で取り組むには小児医療費の無償化を②漫画が文化や経済に好影響を及ぼしている。今後どう漫画文化を花開かせるのか。ねんりんピック、関西万博、関西マスターズゲームズに向け、漫画を利用した観光振興、漫画文化の定着と拠点づくりは。

答 ①重要な問題提起なので、市町村も参画する協議の場を作りたい②地域づくりの起爆剤として非常に重要で、継続発展させる。情報発信、ハード整備、ソフト面での道具立てを総合的に展開する。

一般質問

12月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
鳥取県議会議事録



(※1) NCR…ナショナルサイクリングルート。国が指定する一定の水準を満たした安全で快適なサイクリングルート
(※2) ソーシャルファーム…就労に困難を抱える方に対して、仕事の場を創出することを目的とした社会的企業

西川 憲雄
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

経済財政対策のあり方、地域経済再興

問 ①将来世代へのマナーとして64歳未満（若年人口＋生産年齢人口）の減少に合わせて県債残高を減らすべき②人口減やコロナ禍等に伴い地域の小売・サービス業の廃業が目立つが、地域活性化に商店は不可欠で知恵が必要。

答 ①GDPと連動させ、交付税措置率の高い起債など有利な財源を優先的に使い、実質的な将来負担とその時代の産業振興等とのバランスをとる②商工会連合会等とも連携して事業のDX化、事業承継等の挑戦を支援し、まちの活力の維持向上につなげる。

川部 洋
議員



選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

ふるさと納税の拡充について

問 ふるさと納税が拡大しており、10億円以上の寄附を集める都道府県がある中で、鳥取県の寄附額は4億円であり、まだ拡充する余地がある。県と県産品をPRし鳥取ファンを獲得する有効な手段として、税外収入を確保する手段として、事業者任せにせず、ふるさと納税の拡充に県が積極的に関わるべきである。

答 基本的な方向性は異存なく、ふるさと納税を増やすことに賛成である。さらに効果的にするため、事業者とも検討しながら、そのための努力をいろいろと工夫したい。

山川 智帆
議員



選挙区 米子市
会派 無所属

コロナ・物価高対応策
①IT教育②再エネ

問 ①県内市町村のタブレット持ち帰り状況は格差があり、子ども達が社会に出た時格差を生じぬよう、コロナでも学習が止まらぬよう自宅で同時受講できる体制整備が必要②大阪府が市と一緒にパネルと蓄電池を共同購入し、最大33%オフの実績を踏まえ本県も共同購入検討しては。

答 ①（教育長）県の方から教員資格を持ったICT指導員の配置等人的支援を継続し、格差のない学びの充実に取り組む②スケールメリットを要するため市町村の意向を調査し実用的なら取り組む。

市谷 知子
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

小児医療費無料化、業者応援金、酪農、原発

問 ①子どもの医療費窓口負担無料に②東部の病院でコロナの病棟作りで対応困難に。心寄せた支援を③忘年会なくお客来ず。業者に応援金を④餌代高騰。酪農補償制度創設を⑤県立中央病院で同性パートナーが入院誓約書にサインできず。改善を⑥島根原発再稼働前提の交付金もらうのか。

答 ①市町村で完全無料化の動き。無料化に向け市町村と協議始める②意見よく聞き必要な対応とる③会食制限してない。応援金考えない④国に要望⑤周知した⑥総理が再稼働を決断。影響緩和の交付金。

中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

投票率向上、雪害対策、行政と郵便局との連携

問 ①本県でも最近40%を切る低投票率。現状と課題は②ラニーニャ現象による雪害対策は③総務省は郵便局と全国自治体との業務連携を考えているが知事の所見を伺う。

答 ①期日前投票、巡回投票等で投票機会を確保することや、啓発だけでなくインターネット投票等の制度論を議論することが重要で国にも投げかける②警戒を怠らず対応したい③国の動向を注視し、市町村とも情報共有しながら、郵便局のネットワークと組み合わせた地域サービスの展開を図る。国へも提言したい。

安田 由毅
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

①境港公共マリーナ整備②特定不妊治療助成

問 ①JOC競技別強化拠点センターに認定され本県選手の強化育成・普及にいかに関わっていくか。また今後の環境整備は②経済的理由により治療を諦めることがないよう自己負担額の軽減を図るべき。

答 ①県庁内にプロジェクトチームを作りパリ五輪に向けキャンプの受入準備を急ぎ、マリーナ周辺整備も検討する②不妊治療については、真正面から向き合い応援する必要がある。来年度に医療機関や関係者が妊活・妊娠・出産に関して包括的に課題を話し合う協議体を設置する。

鹿島 功 議員 

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

耕畜連携による循環型農業の推進について

問 堆肥は農業生産に必要不可欠であり、脱化学肥料の観点からも、今後さらにその価値が見直される。耕畜連携を推進していく上で、品質管理された質のよい堆肥が安定供給されるように、老朽化している堆肥センターの新設や改修、機能拡充などが必要と考えるがどうか？

答 我々も思い切って支援をさせていただきながら、議員が目指しておられる、循環型の農業、これによって付加価値を生み、農家の収益アップにもつながるような道をぜひ模索していきたい。

尾崎 薫 議員 

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

①不登校児童等②福祉審議会③芸術活動支援

問 ①特別支援学級支援員配置は児童の実態に合わせ配置を。ニーズの高い不登校生徒児童の支援員の拡充と期間3年の延長も検討を②母親逮捕や施設での児童死亡は重要案件。福祉審議会の児童福祉専門分科会にも諮り審議すべき③鳥の劇場は素晴らしい活動をしている。雨漏りする古いバックヤードの建て替えが必要。市と劇場自身も努力しているが、県も支援を。

答 ①（教育長）検討し適宜見直しを図っていく②報告し専門家の判断を仰ぐ③応分の責務を果たす。

由田 隆 議員 

選挙区 倉吉市
会派 無所属

令和6年春、開館予定の県立美術館について

問 ①美術館の作品収集方針と美術館から学ぶアート・ラーニング・ラボの活用策②鳥取県美術品取得基金の凍結の意図と解除の考え方は？

答 ①（教育長）これまで県ゆかりの作家、作品を集めていたが新美術館に合わせ現代美術も含め国内外の優れた作品や本県の同時代の作家の作品など幅広く分野を広げ、県民の鑑賞や学習機会にすること。美術を通して学びの世界を創出できる仕掛けを創ること②美術館の作品購入の仕方についてクールダウンをして任期中の凍結を決めた。

野坂 道明 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**①コンテンツ産業
②行財政改革**

問 ①起業家、若いクリエイター、金融機関、教育機関、行政等と一緒に循環的、持続的なコンテンツ産業を育てることが重要だと思う②外部有識者による検証を実行し、今後、新たに取り組むべき柱や項目、目標数値を明確化する令和の集中改革プランが必要。

答 ①コンテンツビジネスやアニメ等を活用した産業や人材育成を展開していければと考えている②戦略会議で有識者の意見を聞くプロセスを追加し、次の任期になるが財政誘導目標以外で組織管理目標の策定は賛同する。

澤 紀男 議員 

選挙区 米子市
会派 公明党

**令和6年4月
県立夜間中学開校**

問 夜間中学は学び直しの場合あり、学習に専念するためにも学校給食は必要と考える。また教室のみならず、自然の中で学ぶ体験学習として県立農業高校との連携を図ることも必要と考えるがどうか。

答（教育長）給食はお腹を満たすだけでなく、食の大切さ、命の大切さ、仲間との絆づくりという教育機会になる。有効に機能できるよう工夫したい。農業高校との連携は遠足や野外研修など企画の中身を詰めていく。その視点の一つとして農業体験実習ができればと思う。

浜崎 晋一 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**若者が主役の県政と
共生社会実現への展望**

問 ①将来に向けた地方創生実現には若者が主役の県政を展望すべきだが、若者の県政参画をいかに促進していくのか②強度行動障がい者の在宅支援を通じた共生社会実現をいかに進めていくのか。

答 ①県内高校生・大学生など若い方の意見や発想は「未来からの言葉」であり柔軟に受け止め県政の前進に繋げたい②強度行動障がい者も徐々に高齢化や重度化が進行している。孤独孤立を防ぎ温もりある絆社会をつくる新たな条例で本人や家族が安心して暮らせる地域社会を目指したい。

**内田 隆嗣**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

市街化調整区域における規制を緩和

問 市街化調整区域においては、農地の保全という目的のもと、宅地等の開発行為に厳しい規制がある。米子市から五千石地区・尚徳地区・成実地区・春日地区の公民館を中心に半径500メートルで市街化調整区域における規制を緩和するという方向性が示された。鳥取県としても支えていくべきと考えるが、知事のご所見を伺う。

答 地域のそうした開発、振興ということも同時に実現していくような方向性を追求していければと考えている。

**浜田 妙子**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

**①犯罪被害者支援条例
②福祉分野にDX活用**

問 ①2004年犯罪者基本法に被害者の尊厳と権利が示され地方公共団体の総合的計画的支援体制整備が明記された。鳥取県も特化条例制定を是非②DX活用の本質は豊かな人間関係構築であり難題を抱える福祉分野（児相）へ導入を。

答 ①過去要望に従い支援センターも条例もつくった。他県に比べ進んだ中身で特化条例の名がないからには間違い。名前だけ変えれば解決というのは納得いかない。本当に救済できるものを考えたい②活用できる所はあると思う。組織改編を絡め議論する。

**西村 弥子**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

①子育て支援②ケア労働③更年期症状休暇

問 ①円安・物価高・コロナの三重苦で家計不安の中、子育て世帯への支援策は②介護などケア労働を職場や地域で支える意識醸成等どうするか③県職員へ更年期休暇制度導入しては。男性も含め民間・中小企業へも健康経営の一環で休暇や相談、啓発の推進を。

答 ①子育て応援金10万円今議会計上したが時代に合わせ整える②日本女性会議を女性活躍推進計画の改定に反映し民間と推進図る③県職員調査では休暇制度希望4割で検討に値する。健康文化を創り協会けんぽとも連携図りたい。


**伊藤 保**
議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

国道179号(津山街道)安全対策を点検し検討

問 古くは津山街道と言われていた国道179号。岡山県側の改良が終わり、素晴らしい道路になっていることに驚いた。鳥取県側の改良予定は。人形峠のトンネルが、犬狹峠に比べ暗いと思うが。

答 鳥取県側の道路は、供用開始から41年経過、道路構造令の基準は満たしているが夜間視線誘導標や減速注意標識等点検し対策を検討したい。トンネルの照度は、道路構造上の制限速度で異なるため、犬狹峠トンネルより暗くなっているが、岡山県と効果的な対策を検討したい。

**森 雅幹**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

淀江産業廃棄物処分場について

問 関係住民に理解を得て、処分場をつくるためには、もしもの責任は県が負うという姿勢を見せることが必要だ。

答 将来、もしものときには、事業主体の出資母体は鳥取県なので、きちんと最後まで対応する、その責務を県としては負っている。

問 (処分場の設置申請)申請の安全を審査するのか？

答 廃掃法の仕組みよりも重い手続きとして、環境アセスのように専門家に付す特別のやり方で、科学的アプローチというものをきちんと加えた上で安全を判断していく。

**福浜 隆宏**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①ネット情報②米子産業体育館③高校入試

問 ①分断を生まないため、ネット情報をデマと切り捨てず議論する姿勢が必要では？②米子の新体育館完成後6年先、令和15年に国民スポーツ大会。そこまで産業体育館を県の普通財産として存続は？③特性があり1分野に秀でた生徒は、今後の社会に必要な人材。高校入試でどう対応？

答 ①分断を生まないためには真実は何かを客観的に出す仕組みが必要。メディアも重要②除却以外にも民間譲渡、県の普通財産という転換もある③(教育長)今年度から導入する特色入試で対応できると認識。



／／ 会派正式名称 ／／

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
 【会派民主】会派民主
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団

／／ 答弁者説明 ／／

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

information

県議会からのお知らせ



2月定例会の日程案

期日	日程
2月13日(月)	本会議(開会・提案理由説明)
14日(火)	常任委員会
15日(水)	常任委員会
16日(木)	本会議(代表質問)
20日(月)	本会議(代表質問)
22日(水)	本会議(先議分質疑・付託)、 常任委員会
24日(金)	本会議(採決(先議分)、 一般質問・質疑)
27日(月)	
3月1日(水)	
2日(木)	本会議(一般質問・質疑)
6日(月)	
7日(火)	
9日(木)	常任委員会
10日(金)	特別委員会
13日(月)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
 ※ 午前10時開始の予定です。



パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。
 また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
 こちらから→



みなさまへ

今任期最後の議会だよりの発行です。新型コロナの第7波・8波と感染拡大が続き、収束の見通しがたかない1年。世界を震撼させたロシアのウクライナ侵攻の解決もできず年を越しました。令和5年の干支はウサギです。コロナの影響もない飛躍の年になりますように。
 (広報委員長)

令和3年度決算を認定

決算審査特別委員会は、令和4年12月21日、「令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について」を含む4議案を可決または認定すべきものと決定し、翌22日の本会議において可決または認定されました。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員会を通年設置とし「総務教育」「福祉生活」「農林水産商工」「地域づくり県土警察」「公営企業」の5分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決しています。



県立中央病院



鳥取市立南中学校

決算関係の4議案は、9月定例会から実質的に審査を開始しており、分科会ごとに書類審査を行い、より調査すべき事項について集中審査、現地調査などを重ね、最後は全体会において委員全員で議論しました。

その結果、文書指摘5件、口頭指摘9件を行ったうえで、可決または認定が妥当と決定しました。

同委員会としては2月定例会で、指摘事項を予算等にどう反映したか、知事ら執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、より適正な予算が実現するよう努めてまいります。



旧東部健康増進センター



鳥取警察署賀露駐在所

文書指摘の概要

(1) ICT教育の加速化について

学校教育現場はコロナ禍で転換期を迎えているため、休校時の学習機会を確保し、学びを止めない体制の確立が急務となっています。

教員が学べる環境づくりと、ICT支援員の一時的増員などにより、各教員に必須とされるICT活用指導力の向上を図り、教育の質の向上に向けた取組を加速させるべきであります。

(2) 元健康増進センター等庁舎管理費について

旧東部健康増進センターは老朽化し、今後、有効な活用が見込まれるとは言い難い状況です。センター建物の機械警備などの経費は建物がある限り毎年生じるものであり、建物の解体撤去も含め、県有施設・資産有効活用戦略会議とも連携して、今後のあり方を検討すべきであります。

(3) 債権回収のあり方について

過年度分の債権回収について、強制執行又は支払督促といった法的手続きが検討されないまま時効の援用をされるのは、全庁的な問題であると考えますが、鳥取県税外債権管理プロジェクトチームにおいて法的手続き等のあり方につ

いて検討し、適切な債権管理に取り組むべきであります。

(4) 高度技能・技術人材育成プログラム開発について

県は各企業の人材開発プランの作成を推進していますが、取り組んでいる企業はわずか3社のみという状況です。

県内中小製造業においては、技術者の高齢化を背景に、社内における技術の伝承等が喫緊の課題となっていますので、より多くの企業がプラン作成に取り組むように、作成作業の軽減など支援方法を改善すべきであります。

(5) 令和3年度国土交通省所管補助金の受入手続の不備について

道路事業補助金において、国費受入手続不備により24億8,600万円余もの歳入欠かんを生じました。既に再発防止策が講じられていますが、改めて職員の意識改革を図り国費事務に係る改善策の運用を徹底するとともに、組織体制を整えるなど今後さらなる業務適正化（内部統制）を推進されるべきであります。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案）

令和6年4月開校を目指して準備を進める県立夜間中学の設置に向けた施設改修等に要する経費などを含めた「令和4年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）」のほか、令和4年度末に適用期間が終了する森林環境保全税を廃止し、豊かな森林を次代に引き継ぐための豊かな森づくり協働税を新設し、その適用期間を5年とするとともに、産業廃棄物処分場税の適用期間を5年間延長するなど所要の改正を行う「鳥取県税条例及び鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例」など6件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案）

「令和4年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）」など6議案の審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。なお、「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」には、住民に身近な市町村の役割が極めて重要であることから、市町村等との連携を十分に図り、条例の実効性の確保に努めるよう附帯意見を付した。

◎12月定例会審査結果（陳情）

保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書提出を求める陳情については、県は既に国に対し要望を行っていることから、県議会から重ねて意見書を提出するには及ばないとの意見が多数あり「不採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案）

県内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザに伴う防疫措置、影響を受ける養鶏農家等への経営支援などを盛り込んだ先議議案「令和4年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）」、新型コロナウイルス感染症、円安、物価高騰の更なる長期化を踏まえた企業の売上・利益回復の取組の支援策等を含む「令和4年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）」など計8議案を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎12月定例会審査結果（陳情）

仮想通貨取引所の監督の強化と、顧客資産の分別保管の徹底に係る意見書の提出を求める陳情1件を審査した結果、「不採択」と決定した。

地域づくり県土警察常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案）

国の総合経済対策を踏まえて、観光需要回復に向けた緊急支援のほか、倉吉道路などの高規格道路や原子力防災支援拠点の整備、バス・タクシーのドライバー確保支援を含む一般会計補正予算など8議案を慎重に審査し、全て原案どおり可決すべきものと決定した。


◎出前県議会（11/21）

4月の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、若い世代の消費者トラブルや財産的犯罪被害の抑止に向けた課題について県内大学生等と意見交換し、SNSやスマホアプリなど若者に身近な連絡手段を活用した相談体制の充実などを県や警察に提案した。

自由民主党										会派民主							公明党				無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果				
安田由毅	中島規夫	福田俊史	藤縄喜和	斉木正一	浜崎晋一	西川憲雄	浜田一哉	内田博長	広谷直樹	内田隆嗣	野坂道明	島谷龍司	坂野経三郎	西村弥子	森雅幹	尾崎薫	浜田妙子	興治英夫	伊藤保	福岡裕隆	濱辺義孝	澤紀男	銀杏泰利	山川智帆					福浜隆宏	由田隆	市谷知子	
議案に対する賛否																																
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	認定
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	可決及び認定
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	認定
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	可決
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	可決
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	欠	○	27	1	28	可決
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	欠	×	26	2	28	可決
×	欠	欠	×	×	×	×	×	議	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	○	×	欠	○	10	18	28	否決	
委員長報告に対する賛否																																
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	×	27	1	28	不採択 (措置済)
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	×	○	欠	×	18	10	28	不採択 (措置済)	
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	欠	×	19	9	28	不採択 (措置済)	
○	欠	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	欠	○	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	×	○	欠	×	18	10	28	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。
 ※陳情に（措置済）と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため願意がおおむね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理由とするもの。

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます⇒



議案等番号	件名	議決結果
⑬	鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑭	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑮	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑰	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター中期目標の制定について	可決
⑱	当せん金付証券の発売について	可決
⑳	鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例	可決
附帯意見	(議案第20号関係)	決定
㉒	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㉓	令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)	可決
㉔	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
㉕	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
❶	鳥取県議会個人情報保護条例	可決

令和4年12月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

議案等番号	件名	自由民主党					
		語堂 正範	常田 賢二	川部 洋	松田 正	鹿島 功	山口 雅志
9月定例会 第14号	令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○
9月定例会 第15号	令和3年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和3年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○
⑬	令和3年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○
①	令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○
⑩	鳥取県税条例及び鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑯	事業契約(鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業)の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
⑳	鳥取県個人情報保護条例	○	○	○	○	○	○
㉒	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉓	マイナンバーカードの普及状況を地方交付税や各種交付金に反映させることに反対の意見書	×	×	×	×	×	×
議案等番号	件名	委員長報告					
陳情4年-22 (農林水産商工)	仮想通貨取引所の監督の強化と、顧客資産の分別保管の徹底に係る意見書の提出について	不採択 (措置済)	○	○	○	○	○
陳情4年-23 (地域づくり県土警察)	北朝鮮のミサイル発射に係る意見書の提出について	不採択 (措置済)	○	○	○	○	○
陳情4年-24 (地域づくり県土警察)	自賠責保険制度の適切かつ安定的運営に係る意見書の提出について	不採択 (措置済)	○	○	○	○	○
陳情4年-25 (福祉生活)	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等 番号	件名	議決 結果
9月定例会 第16号	令和3年度鳥取県営病院事業決算の認定について	認定
	決算認定に係る指摘事項[9月定例会第14号、第15号及び第16号並びに12月定例会第19号]	決定
②	令和4年度鳥取県給与集中管理特別会計補正予算(第1号)	可決
③	令和4年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
④	令和4年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
⑤	令和4年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第2号)	可決
⑥	令和4年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決
⑦	令和4年度鳥取県営埋立事業会計補正予算(第1号)	可決
⑧	令和4年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第3号)	可決
⑨	鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑪	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑫	鳥取県営境港水産物地方卸売市場の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決

令和4年度 高校生議会を開催！



米子北斗高等学校、松田議員はオンラインにより参加

高校生議会（令和4年10月31日 本会議場）

（質問順）

3年ぶりに開催しました！

鳥取県の次世代を担う高校生が集い、副知事や教育長らに質問する高校生議会が、10月31日（月）に開かれ、高校生の若い視点で捉えた県政の諸課題について活発な論戦が展開されました。

この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらうことを目的に実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止となりましたが、今年は3年ぶり12回目の開催となりました。

県内9校から参加した28名の高校生は、指導役の県議会議員と意見交換を行い、質問の要領、構成など個別にアドバイスを受けながら質問の原稿作成を進め、質問に臨みました。

当日は、スマホ、ネットの利用や高校生の居場所づくり、成年年齢の引き下げといった若者に身近な問題や若い世代が抱える課題をテーマに、校内の活動や自らの実体験などを交え、議員さんながらに質問や提言を行いました。

参加した高校生からは、「鳥取の課題を再認識することができた」「県政や政治に興味、関心が持てた」「今回の経験を同級生や後輩に伝えたい」などの感想があり、議会や県政への関心や理解を深めていただく機会となりました。

高校生議会の詳しい内容は
こちらからご覧いただけます。 →



高等学校名	生徒氏名	質問項目
鳥取東	石場 真緒 大村 香久 田中 志織	若者のニーズに合った鳥取の空き家の利活用について
智頭農林	上田 一乃 土佐 笑花 小林 大倭 澤田 至希	新型コロナと関連した今後の鳥取県の産業について
米子松蔭	深吉 凜	成年年齢の引き下げによる課題について
鳥取西	中村 小春 岩垣 舞音 東田 未来	ジェンダーギャップ解消に向けた取り組みについて
境港総合技術	藤本 快斗 椎葉 絢都 別所 鈴王 生田 凜空	子どものスマートフォン・インターネット利用への対策について
倉吉西	花池 郁美	県立施設の有効活用による学生の自主勉強の場の提供について
米子工業	中原 玲偉 上田 和正	持続可能な工業高校とはー鳥取県のものづくり高校の未来についてー
岩美	米山 聖乃 谷口 百葉 田淵 未結 中村 琉希 谷岡 拓海	高校生が輝ける第三の居場所づくりについて
米子北斗	小川 響生 伊藤 幹人 岩崎 仁美 渡邊 千紗 岩田 彩杏	IJUターン政策及び雑草を使った環境教育について